



ろうさい病院つうしん

発行所:中部ろうさい病院

〒455-8530 名古屋市港区港明1-10-6
<http://www.chubuh.johas.go.jp/>

TEL: 052-652-5511
FAX: 052-653-3533

院長就任のご挨拶



院長 佐藤 啓二

当院において、3月12日入院患者1名が新型コロナウイルス陽性であることが判明し、濃厚接触者を追跡したところ、既に退院していた無症候感染者1名が明らかとなりました。

先生方には大変ご心配とご迷惑をおかけしたものと、深くお詫び申し上げます。その後、濃厚接触者（患者5名、職員22名）についてPCR検査を行い、全員陰性を確認するとともに臨床経過を把握し問題なしと判断しました。一定期間の業務縮小後、病院機能は復旧しております事を報告させていただきます。

改めまして、4月より病院長として着任しました。前任の愛知医科大学では3年間病院長、足掛け8年間新病院建設委員会・委員長、6年間学長として、病院経営及び組織運営につき種々経験させていただきました。その知識と経験を生かして、地域で開業されている先生方と連携を深め、地域中核病院として十分役割を果たすこと、勤労者の健康と職業生活を守ることを目的として行う勤労者医療の中核的存在である中部ろうさい病院を一層活性化することに尽力したいと思っております。

つきましては、できるだけ早い段階で地域において開業されている先生方を訪問させていただき、中部ろうさい病院に対する要望及び意見をお聞きしたいと思っております。その折には宜しく願いいたします。

また地球規模の新型コロナウイルス感染症が蔓延している中、愛知県では患者数の爆発的増加に至っておりませんが、一定数の発生が報告されています。県内の感染症指定医療機関に63名程度、その他医療施設に80名程度入院されていますので、各医療機関は日常診療を続けながら負荷の大きいコロナウイルス陽性患者対応を行うことを求められています。愛知県の医療崩壊を防止する為に、県内医療関係者は力を合わせてがんばる時だと思っております。開業の先生方にはしばらくご迷惑・ご面倒をおかけするかもしれませんが、ご容赦ください。

副院長就任のご挨拶

副院長 岡 義春



皆様方には、病診連携を通じて、いつも大変お世話になっております。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。私は産業医科大学を昭和59年に卒業しました。昭和61年から広島県の浜脇整形外科病院勤務、昭和62年から九州労災病院勤務、昭和63年から熊本労災病院勤務、平成1年から兵庫県信原病院勤務、平成2年から中部ろうさい病院勤務、平成4年から日立製作所土浦診療健診センター勤務、平成6年から再び中部ろうさい病院勤務になり現在に至っています。以前、かかわった患者さんに久しぶりにお会いする度に、私のことを覚えていただいていること、永く当院に勤めていることを自覚することがあります。

当院の整形外科は年間約1000例の手術を行っております。その内訳は脊椎疾患500例、人工関節を中心に関節疾患200例、骨折を中心に一般整形疾患300例でございます。

整形外科の外来受付時間は午前8時15分から午前11時までのため、受付終了時間が他の診療科より30分、短くなっています。大変、御迷惑をおかけいたしますが、少ないマンパワーの中、手術や検査を効率よく行うための、苦渋の選択でございます。

病気には完治する病気と、現代の医学では完治が難しい病気があります。病気を治療するためには、医療者と患者さんの両者に努力が必要です。努力は報われると思われ治療を行なうように心がけています。病気による人生や日常生活の損失をできるだけ抑えることが医療の目的と考えています。

高齢化社会において、整形外科の需要は今後も増加していくと考えられます。私が医師になった当時は大腿骨近位部骨折の患者さんの平均年齢は70歳代でしたが、今は80歳代、90歳代の方が主で、患者さんの数も増加しています。高齢の患者さんの痛みを取り除き、以前の日常生活レベルまで回復していただくことが治療の目標ですが、当院の医療スタッフだけでなく、近隣の医療にかかわる皆様との連携、協力が欠かせないと考えています。今後とも皆様の御支援をお願い申し上げます。

新任部長挨拶

産婦人科部長 柴田 大二郎



当院連携医の先生方には平素より格別のお引き立てにあずかり、厚くお礼申し上げます。令和2年4月1日より藤原多子部長の後任として産婦人科部長に赴任しました柴田大二郎と申します。私は名古屋市出身で、平成8年に大阪府にある関西医科大学を卒業しました。同年より豊橋市民病院で医師としてのキャリアをスタートし産婦人科医になりました。その後、名古屋大学医学部附属病院にて生殖グループに所属し、不妊症の治療、研究に従事しておりました。名大病院に在籍時、当中部労災病院にて当直代務をしたこともありました。名古屋医療センター、津島市民病院勤務の後、今回の赴任となりました。まだ不慣れではありますが、産婦人科同僚医師をはじめ、スタッフに助けられ日々の業務に精を出しております。

当院では周産期、婦人科疾患、不妊症、女性ヘルスケアなどの全般的な産婦人科診療を行っています。

「周産期」においては、妊婦健診毎に超音波検査を行い、慎重に周産期管理を行っています。健診以外に個別で4D超音波外来、胎児超音波スクリーニング外来も行っています。産後は母児同室を原則とし、助産師による妊娠管理指導および母乳栄養を推進しています。

「婦人科疾患」においては、子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌など悪性疾患に対し手術および化学療法、放射線療法など行っています。化学療法は患者の体調や希望により入院、外来どちらでも行うことができます。手術に関しては開腹手術や腔式手術のみならず、子宮筋腫や子宮内膜症、卵巣腫瘍などの良性腫瘍全般に対し腹腔鏡下手術を施行しています。近年増加している子宮内膜症、子宮筋腫、骨盤臓器脱には、症状、年齢、生活背景などを考慮し、種々の薬物療法や手術療法を組み合わせるニーズに沿った治療を進めています。特殊外来として、子宮頸部のコルポスコピー検査、子宮鏡検査を行っています。

「不妊症」においては、原因検索を含む各種検査、タイミング療法、排卵誘発、人工授精まで行っています。さらに体外受精が必要となる場合は、他の専門医療機関を紹介させていただいています。

「女性のヘルスケア」においては思春期の月経異常、更年期障害、月経困難症などのあらゆる世代の女性のホルモン異常に対する治療を行っています。

最後になりますが、連携医の先生方のますますのご発展をお祈りし、今後とも当院産婦人科へのご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。私の就任のご挨拶とさせていただきます。

転任挨拶

看護副部長 佐藤 恵里子



連携医の先生方には、平素より大変お世話になっております。また、この度のコロナウイルス感染症の患者対応に際しては、多大なご協力をいただいております。感謝申し上げます。

私は令和2年4月1日付けで新潟労災病院より看護副部長として着任いたしました。人工透析室師長を兼務しております。前勤務地の新潟労災病院で長年勤務し、生まれ育った新潟県を離れるのとはとても不安でした。市の規模も、人口も違いますが、港に近く、海の風が心地よい所は前居住地に似ており、とても落ち着いて暮らせそうだと感じております。

中部労災病院の規模の大きさと、豊富な人材に驚きながら、日々奔走する毎日です。中部労災病院看護部は、15の部門で構成され、今年度は「多様な価値を尊重し看護をつなぐ」と目標を立案し活動してまいります。特に、14分野21名の認定看護師が活動しております。今年度も院外連携施設の職員様対象に向けた研修や、地域住民の皆様対象の健康相談などを企画しております。看護部の目標である「地域の人々の満足と信頼につなぐ」ことに貢献できると感じております。ぜひご参加ください。

赴任したばかりですが、微力ながら皆様のお役に立てるようにしたいと考えております。よろしくお願いいたします。

転任挨拶

薬剤部長 栗原 康彰



当院連携医の先生方には、平素より大変お世話になっております。4月1日付けで旭労災病院より転任してまいりました。当院薬剤部は薬剤師24人で、入院患者の内用外用注射調剤、服薬指導、薬品管理等を中心に業務を行っています。

近年、病院薬剤師の業務が入院患者の薬剤管理中心になってきています。その中でも、特に重要なのが持参薬鑑別です。入院患者が持参した薬を調べることによって、その患者さんがどのような薬物療法をしてきたのか確認します。もちろん診療情報提供書でも処方内容はわかるのですが、ジェネリック中心の現在では、処方と異なる製品（同成分他社製品）で調剤されていることが多いですし、複数の医療機関を受診していることも多くあります。又、持参薬の錠数を調べることによって服用状況を推察することもできますし、もちろん本人から聞き取ることによって確認もできます。こうして入院前の薬物療法について担当医に情報提供することによって、入院後の処方決定を支援しています。

又、予約して入院する患者さんについては、入院前に服薬状況を確認することが求められています。手術目的の場合など、事前に休薬が必要な薬があったりします。しかし、患者さんが薬の内容を理解していなかったり、情報を持ち合わせていないなど、課題は多くあります。

最近では退院時の指導にも力を入れています。入院中はきちんと服用出来ていても、退院後に服用できなければ困ります。令和2年度の診療報酬改定では保険薬局との連携も評価される内容になっています。入院前から入院中、退院後と薬物療法に関わっていただければと思います。

診療科の紹介 歯科口腔外科

歯科口腔外科部長 鶴迫 伸一



歯科口腔外科は昭和33年7月に開設され、地域の皆様のご支援により発展してまいりました。連携医の先生方には長年のご厚情、ご指導を賜りまして深く御礼申し上げます。昨年度をもちまして鈴木英治部長は退職され、4月から当科部長を拝命いたしました私、鶴迫伸一（平成5年鹿児島大卒）、水野肇（平成25年広島大卒）、小嶋一輝（平成31年愛知学院大卒）の歯科医師3名、歯科衛生士3名、歯科技工士1名の新体制となりました。当科を受診される患者さんのほとんどは連携医の先生からのご紹介で、その多くは全身疾患のある方の外科処置、抜歯のご依頼です。最近は難治性の骨吸収抑制薬関連性顎骨壊死を生じる方も多く、医科歯科連携の重要性を再認識するところです。また、口腔がん、顎骨骨折、インプラント治療前の骨移植、矯正治療のためのインプラントアンカー植立、顎矯正手術等は口腔外科の専門とするところで、CT、MRI等による早期診断、短期間の入院、全身麻酔、鎮静療法等の適切な選択により患者さんに負担の少ない治療を行い、スムーズに紹介元の先生に戻っていただけるよう心掛けております。本来ならば先生方を訪問させていただくべきところですが新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑みましてまずは誌面でのご挨拶にて失礼いたします。病診連携を密に、皆様とともに困難な状況を乗り越えてゆけるよう微力ながら努力してまいりたいと思います。今後ともご指導のほど何卒よろしくお願いいたします。

地域の皆さまから信頼される関係づくりを目指して

地域医療連携室 連携課長 内村 一郎



平素より連携病院、開業医の先生方及び産業医の先生方には大変お世話になっております。

令和2年4月に地域医療連携室 連携課長として着任いたしました内村と申します。地域の先生方との医療連携を今まで以上に深めるとともに、中部ろうさい病院が皆さまから信頼されるように新たな連携関係を目指し邁進して参る所存ですので、よろしくお願い申し上げます。

当院は現在、医科と歯科を合わせて760を超える医療機関を連携登録医とさせていただき、患者さんの紹介や逆紹介等を行っております。また、定期的に地域医療連携室から「連携かわら版」「ろうさい病院つうしん」を発行して皆さまにお届けしております。今後も当院の情報を提供してまいりますので、引き続きご一読いただければ幸いです。

また今後、中部ろうさい病院の各診療科が得意としている分野や専門領域について取り纏めた冊子の作成を予定しております。これは地域の先生方に当院で行われている診療を今まで以上にご理解いただいた上で患者さんを紹介いただき、患者さんに当院で最善の医療を受けていただくことを目的としております。出来上がりしましたら改めてご案内させていただきますので、今しばらくお待ちください。地域医療連携に関しまして、皆さまからの忌憚のないご意見、ご要望等もお聞かせいただければ幸いです。今後ともよろしくお願い申し上げます。

地域医療連携室だより

インターネットWeb予約【C@RNA Connect】のご案内

Web予約システム「カルナコネクト」は、インターネットに接続されたパソコンがあればご利用いただけます。システム利用開始にあたっては、申込用紙※1を記入するのみです。手続き完了後は簡単に診療時間外でも予約を取ることが可能となりますので、ぜひご利用ください。

【予約取得の流れ】

- ①カルナコネクトを登録したパソコン等の端末で予約画面にアクセス
- ②予約を取得
- ③案内と紹介状を印刷して患者さんへ渡して終了

【予約可能診療科（10診療科）】

外科、呼吸器外科、泌尿器科、形成外科、眼科、呼吸器内科、循環器内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、リウマチ膠原病科

【予約可能検査等】

放射線検査（CT単純・造影・冠動脈）、MRI（単純）※2

内視鏡検査（胃カメラ、大腸カメラ）

※1：地域連携室（052-652-5950）へご連絡いただきますと、申込用紙を当院より郵送いたします。申込用紙記入後は返信用封筒にてご返信ください。

※2：MRI（単純）撮影については、土日祝日も実施しております。

★当院では現在、新型コロナウイルス感染拡大防止による外来受入制限は行っておりません。患者さんのご紹介を引き続きお願いいたします。

医師交代

☆退職

（令和2年3月31日付け）

加藤 文彦 院長
河村 孝彦 副院長
鈴木 英治 歯科口腔外科部長
藤原 多子 産婦人科部長
湊口 槇子 糖尿病・内分泌科医師
篠原 周一 呼吸器外科医師
藤原 玄 外科医師

稲垣 計 耳鼻咽喉科医師
杉野 貴之 整形外科医師

☆採用

（令和2年4月1日付け）

佐藤 啓二 院長
柴田 大二郎 産婦人科部長
佐野 壘 耳鼻咽喉科副部長
小林 智輝 外科医師

榊原 利博 呼吸器内科医師
草野 大樹 整形外科医師
榊原 類 耳鼻咽喉科医師

☆補職

（令和2年4月1日付け）

岡 義春 副院長
原田 一宏 循環器内科副部長
水野 肇 歯科口腔外科医師

当院の理念

納得、安心、そして未来へ

当院の基本方針

- ・医療の質の向上と安全管理の徹底
- ・生命の尊厳の尊重と患者さん中心の医療
- ・人間性豊かな医療人の育成と倫理的医療の遂行
- ・地域社会との密な連携と信頼される病院の構築
- ・災害・救急医療への積極的な貢献と勤労者に相応しい高度医療の提供

☎地域医療連携室 （平日 8：15～19：30）
052-652-5950 (TEL)
052-652-5716 (FAX)

室長：坂口 憲史（副院長）
課長：内村 一郎
事務担当：今枝 智子・内藤 遵子・金井 久実